

【研究シーズテーマ】

損傷した文化財の 撮影写真を自動修復する技術

 情報学部 情報コミュニケーション学科 教授 **山岸 秀一**

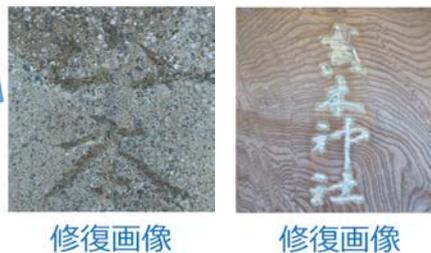
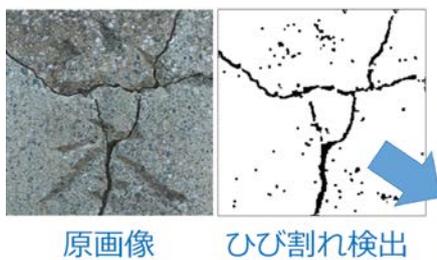

Keyword

画像処理／テクスチャ合成／ひび割れ検出／自動修復

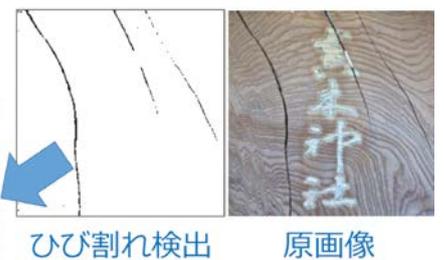

【研究シーズの概要】

貴重な文化財を作成された時の状態で後世に残すことは、とても重要です。しかし、既に破損が生じてしまったものもあり、今後も劣化のリスクは避けられません。そこで、ひび割れ等により損傷した文化財を写真に撮り、画像処理による自動修復を施すことによって、文化財の元の状態を復元する技術を開発しました。この手法を用いれば、貴重な文化財を写真の中でオリジナルな状態のまま保存することができます。

◎石碑



◎木製扁額



◎文化財修復の例

【新規性・独自性・従来研究(技術)と比べての優位性】

- 文化財の劣化部分を手動で指定する必要がありません。
- 大量の損傷文化財も、写真に撮って自動修復できます。
- 修復部分の不自然さが残りません。

【産業界での展開・用途】

- 文化財に限らず、劣化した思い出の品を写真の中で復元・保存
- スナップ写真の不要部分を自動消去

連絡・問合せ先

 広島工業大学 研究支援機構 〒731-5193 広島市佐伯区三宅2-1-1
 (事務窓口: 研究・地域連携支援部) TEL:082-921-4222 FAX:082-921-8963
 URL <https://www.it-hiroshima.ac.jp/for-research/office/> E-mail kyo-kiko@it-hiroshima.ac.jp